

# 大雨が降った時に身を守る行動をとるために

～熊野川中学校で防災授業を行いました～

～紀南河川国道事務所～

地域の防災力向上のための取り組みの一環として、新宮市立熊野川中学校で防災授業を行いました。開催は今回で3回目となります。

平成23年の紀伊半島大水害や令和元年8月の台風第10号といった身近な災害を振り返りながら、台風が近づいている時、自分たちの身を守るため、いつ、どのような行動を起こせばよいのか、そのために普段から準備できる事は何か、生徒の皆さんと紀南河川国道事務所の職員と一緒に考えました。当日夕方にはNHKでその様子が放送されました。

- 日時: 令和元年12月4日(水) 13:30～15:30
- 場所: 新宮市立熊野川中学校(全校生徒23名・地域住民約10名)
- 主催: 紀南河川国道事務所



## 職員による概要説明

- ・熊野川の雨の降り方
- ・台風の進路と傾向
- ・雨の量と河川の水位
- ・行政の降雨対策
- ・情報の入手の方法
- ・事前避難の重要性
- ・平時から心がける事



## ワークショップ形式での 班別討議

- ・台風が接近した時どこにいた？
- ・避難したきっかけは？
- ・どこに避難したらいい？
- ・普段から準備することは？



- 討論テーマ① 皆さんが住んでいる地区でどのような災害がありましたか  
討論テーマ② 今後大雨が降ったときに、自分・家族・地域の人を守るためにどうしたら良いだろう

## 討論した内容発表



停電や断水が起きて怖かったです。



地域としてどう動くかを事前に決めておくことが大事です。

## NHKの放送「ギュギュッと和歌山」



地元の中学生在が水害から身を守る方法を考える授業が行われました。

水害から身を守る方法 考える授業

## 授業を受けた生徒の感想

- ・台風が来る前から避難場所を考えておくなどの備えが大切だと分かった。
- ・地域の方との情報共有を行い、災害時には少しでも被害を減らしたい。
- ・学んだことを活かして、早めに避難し多くの情報を得て災害の状況を知ることが大切だと感じた。
- ・平成23年台風12号の際の写真を見て、こんなに浸かっていたとは思っていなかったため驚いた。
- ・地域の方と一緒に勉強すると昔の熊野川の様子や熊野川のことを教えてもらった。
- ・まだ家族で防災について話し合ったことはないが、事前に避難場所を決めておこうと思った。
- ・地域の方と防災について学び、防災意識を高め合って連携を取れるような取組を今後していきたい。

